

インドネシア水道に係る情報収集 No. 200801-1J

検索サイト	Google	実施日	2020/08/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア AND 水道」で検索（「インドネシア の 水道」と表示される）					
URL： https://internshipprogram.go.jp/theme/case/case2019_07.html					
<p>標題： 経済産業省 国際化促進インターンシップ事業 水道テクニカルサービス株式会社における事例の紹介 新興国で期待される日本の漏水調査技術 現地水道局にアプローチしてアジア各国に事業展開を進める</p>					
<p>水道テクニカルサービス株式会社（以下、同社とする）は横浜市に本社を置く漏水調査の専門会社であり、漏水を調査・発見する事業と、漏水監視機器 L-sign のシステム提供を行っている。今後はアジアに業務領域を拡げて、現地のインフラ改善に役立てたいと考えている。すでに JICA、JETRO、横浜市の民間支援制度を活用し、インド・ベトナムで漏水調査業務および人材育成（技術）トレーニングに係る業務を現地水道局から受託した実績がある。さらなる拡大を目指し、インドネシア進出を検討している。インドネシアのインターンと協働して異文化理解と現地ニーズの把握を図ることが案件形成の近道になると考え、本事業に応募した。</p> <p>《インターン》 岐阜大学工学部に留学経験のあるインドネシア人女性。</p> <p>《活動内容》 漏水調査に関わる講習後、インターンの希望で日本のビジネスマナー（名刺交換や電話対応、取引先への同行など）を経験した。主な活動は、インドネシアのマーケットリサーチ（インターネット、電話等によるニーズ収集）、インドネシア語の会社・技術紹介資料作成サポート、インドネシア展示会のフォロー、社員に向けてインドネシアの文化および水道事情のプレゼンテーションである。受入れにあたってイスラム教徒であるインターンに配慮した社内環境を整えた。プレイヤーの準備、お祈り時間に合わせた就業時間の配慮、モスク、ハラルレストランやスーパーの情報提供など、インターンが活動に注力できる環境づくりを心がけた。</p> <p>《受入成果》 インドネシアのマーケットや文化の理解。インドネシアの関連サイトやニュースの閲覧、マーケット調査による現地の課題を具体的な把握。複数の現地水道局へのコンタクト、ヒアリング。来日した海外の水道局幹部職員への同社事業のプレゼンテーション。こうした基礎調査などを基にした、ターゲット 3 水道局への提案書を作成。社員全体の異文化への興味・理解が深まり、今後の事業展開を見据えて、英語など語学のスキルアップに取り組む社員も増えた。</p> <p>《インターンの声》 岐阜大学留学中に日本の水道と浄化システムを研究したので、同社の事業は大いに興味があった。インドネシアの漏水問題は深刻で、インドネシアでの平均的な無収水（漏水などで料金徴収できない水）率は約 33%にもなる。同社の技術は、インドネシアの無収水対策に非常に有効である。活動を進める中で、日本のビジネススタイルを学び、日本語スキルを向上させることができた。同社の皆さんは常に私を気遣い、活動をサポートしてくれた。あたたかい友情を示してくれた社員の皆様に本当に感謝している。帰国後は、日本で得た漏水探知技術に関する知識を母国の事業者に浸透させたい。インドネシアの水道事業者と共同でプロジェクトを行えるよう、引き続き同社をサポートしていきたい。</p>					
<p>備考 国際化促進インターンシップ事業の目的、内容については、上記サイトの「事業内容」を参照。2020 年度国際化促進インターンシップの実施時期は、日本を含む全世界での新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大の現状を鑑み、現在経済産業省と協議中である。</p>					